

目次

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
建設課	定住化の促進	5252	住宅管理費	住宅共通経常管理費	簡易	1
建設課	定住化の促進	5254	住宅管理費	建築物耐震診断等事業費補助金	簡易	2
建設課	定住化の促進	5256	住宅管理費	木造住宅耐震改修事業費補助金	簡易	3
建設課	定住化の促進	5257	住宅管理費	がけ地近接等危険住宅移転事業費補助金	簡易	4
建設課	定住化の促進	5278	町営住宅管理費	公営住宅等経常管理費	簡易	5
建設課	定住化の促進	5279	町営住宅管理費	特公賃・その他住宅等経常管理費	簡易	6
建設課	林業の振興	03750-2	林業振興管理費	林業振興経常管理費	簡易	7
建設課	林業の振興	3824	小規模林道整備事業費	箱線改良事業費	簡易	8
建設課	林業の振興	3842	小規模林道整備事業費	山口線改良事業費	簡易	9
建設課	林業の振興	3845	小規模林道整備事業費	裏土地線舗装事業費	簡易	10
建設課	林業の振興	3846	小規模林道整備事業費	白ツエ線改良事業費	簡易	11
建設課	林業の振興	3860	治山林道事業費	泉山線開設事業費	簡易	12
建設課	林業の振興	3895	治山林道管理費	治山林道管理費	総合	13 - 14
建設課	林業の振興	3936	単独林道整備事業費	作業道細田線開設事業	総合	15 - 16
建設課	林業の振興	03936-0	単独林道整備事業費	作業道細田線開設事業（線越分）	簡易	17
建設課	林業の振興	3937	単独林道整備事業費	美作北線改良事業費	総合	18 - 19
建設課	農業の振興	3415	小規模土地改良事業費	小規模土地改良事業費	簡易	20
建設課	農業の振興	3445	農業用施設管理費	農業用施設管理費	総合	21 - 22
建設課	農業の振興	3561	農村地域防災減災事業	農村地域防災減災事業	簡易	23
建設課	農業の振興	03561-0	農村地域防災減災事業	農村地域防災減災事業（線越分）	簡易	24
建設課	農業の振興	3602	農業施設管理費	香々美ダム経常管理費	簡易	25
建設課	農業の振興	3606	農業施設管理費	小公園経常管理費	簡易	26
建設課	道路網の整備	4651	土木総務管理費	土木総務経常管理費	簡易	27
建設課	道路網の整備	4671	道路橋梁総務管理費	道路橋梁総務経常管理費	簡易	28
建設課	道路網の整備	4700	道路維持管理費	道路維持経常管理費	簡易	29
建設課	道路網の整備	04705-0	道路維持補修事業費	道路維持補修事業費（線越分）	簡易	30
建設課	道路網の整備	4705	道路維持補修事業費	道路維持補修事業費	簡易	31
建設課	道路網の整備	4710	除排雪事業費	除排雪事業費	簡易	32
建設課	道路網の整備	4714	除排雪事業費	除雪車整備事業費	簡易	33
建設課	道路網の整備	4715	除排雪事業費	社会資本統合整備交付金事業	簡易	34
建設課	道路網の整備	4720	道路河川愛護費	道路河川愛護費	簡易	35
建設課	道路網の整備	04770-0	単独改良事業費	単独改良事業費（線越分）	簡易	36
建設課	道路網の整備	4770	単独改良事業費	単独改良事業費	総合	37 - 38
建設課	道路網の整備	04837-0	過疎対策事業費	町道古川小座線歩道新設事業費（線越分）	簡易	39
建設課	道路網の整備	4837	過疎対策事業費	町道古川小座線歩道新設事業費	総合	40 - 41
建設課	道路網の整備	4915	単独舗装事業費	町道単独舗装事業費	総合	42 - 43
建設課	道路網の整備	5061	橋梁整備事業費	補助橋梁整備事業費	総合	44 - 45
建設課	道路網の整備	05062-0	橋梁整備事業費	単独橋梁整備事業費（線越分）	簡易	46
建設課	道路網の整備	5062	橋梁整備事業費	単独橋梁整備事業費	総合	47 - 48
建設課	防災対策の推進	5180	河川維持補修費	河川維持補修費	簡易	49

事業番号	事務事業名	住宅共通経常管理費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
05252	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	住宅係	担当者・シート作成者	嶋田 麦
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	公営住宅法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	建築業務全般に必要な経常経費及び建築業務の研修会参加の負担金等を計上している。	建築係員の技術向上のため(事業実績調査については平成24年度より開始)

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 建築系の職員	ア 技術員の数	人	見込 実績	3 3	3 3	3 3	3	3
イ 適正な事務事業量	イ 建築工事・業務委託発注件数	件	見込 実績	60 77	60 56	60 60	60	60
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 職員の技術向上	ア 研修・出張した延べ人数	人	目標 実績 達成率	15 6 40.0%	15 8 53.3%	15 10 66.7%	15	15 66.7%
イ 適正な事務事業の実施	イ 技術員一人あたりの発注件数	件	目標 実績 達成率	20 26 130.0%	20 19 95.0%	20 20 100.0%	20	20 100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 研修・出張への参加	ア 研修・出張回数	件	目標 実績 達成率	15 6 40.0%	15 8 53.3%	15 10 66.7%	15	15 66.7%
イ 係内・関係課との協議	イ 係内及び関係課と協議した月数	月	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 住み続けてもらう
イ 町外の住民	イ 転入してもらう
ウ	ウ 雇用の場を創出する
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 款 08		01 項 06		01 目 01		01 中事業 03		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		住宅費		住宅管理費		01 03		住宅共通経常管理費					
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財		376	411			35			
一般財源	434	434	414	494	494	-20	一般財源	315	27	1	494	494	-26			
合計	434	434	414	494	494	-20	合計(A)	315	403	412	494	494	9			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						20	20	20	20	20	20				
	人件費計(千円)(B)						67	67	68	67	67	67	1			
	最終予算額		414 千円		予算執行率		99.5%		トータルコスト(A+B)		382	470	480	561	561	10

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	建築係員の技能向上や業務のため必要な費用を計上している。新型コロナウイルスの影響もありここ数年研修の機会が少なかったが、今後は研修機会の増加が見込まれる。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	建築物耐震診断等事業費補助金	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
05254	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	建築係	担当者・シート作成者	岡田 悠暉
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	鏡野町建築物耐震診断等事業費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町民の民間建築物、住宅の耐震診断に係る費用の一部を補助し耐震対策を施すことにより地震による人的・経済的被害を軽減させる。 ・耐震診断のできる県知事指定の建築士事務所により耐震診断を行った場合、その費用の一部を補助する。	平成16年中越地震を始め、19年能登半島地震、20年の岩手宮城内陸地震等の発生による甚大な人的・経済的被害が発生している。また岡山県では南海、東南海地震が予測される中、被害を最小限に食い止めるため、国の法整備、県の計画立案に合わせて開始された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 人口	人	見込	12,625	12,497	12,358	11,627	11,455
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 住宅の耐震診断	ア 耐震診断等実施件数	件	目標	6	6	6	1	1
イ	イ		実績	2	2	0		
			達成率	33.3%	33.3%	0.0%		0.0%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 申請受付、相談等	ア 申請受付件数	件	目標	6	6	6	1	1
イ 補助金交付	イ 補助金交付件数	件	実績	2	2	0		
			達成率	33.3%	33.3%	0.0%		0.0%
			目標	6	6	6	1	1
			実績	2	2	0		
			達成率	33.3%	33.3%	0.0%		0.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 住み続けてもらう
イ 町外の住民	イ 転入してもらう
ウ	ウ 雇用の場を創出する
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 06		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		土木費		住宅費		住宅管理費		建築物耐震診断等事業費補助金						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	05254		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金	60	34	0	30	30	-34	国庫支出金	60	34	0	30	30	-34		
県支出金	30	17	0	15	15	-17	県支出金	30	17	0	15	15	-17		
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	30	17	0	15	15	-17	一般財源	30	17	0	15	15	-17		
合計	120	68		60	60	-68	合計(A)	120	68		60	60	-68		
財源名称	建築物耐震診断補助事業補助金(国費)					従事正職員人数	1	1	1	1	1				
	建築物耐震診断補助事業補助金(県費)					延べ業務事務時間	20	20	10	20	20	-10			
						人件費計(千円)(B)	67	67	34	67	67	-33			
	最終予算額		0 千円		予算執行率	トータルコスト(A+B)		187	135	34	127	127	-101		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	国及び県への補助金の手続きを行っている。申請件数は0件であるが、住宅の安全性を高めるために必要な事業である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	木造住宅耐震改修事業費補助金	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
05256	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	建築係	担当者・シート作成者	岡田 悠暉
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	鏡野町木造住宅耐震改修事業費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町民の民間建築物、住宅の耐震改修に係る費用の一部を補助し、耐震対策を施すことにより人的・経済的被害を軽減させる。 ・見積を所有者に徴収してもらい、耐震改修のみに係る補助額を算定し補助を行う。	平成19年から耐震診断事業を開始し、診断結果を踏まえた改修に対する補助事業として平成25年から取り組んでいる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 人口	人	見込	12,625	12,497	12,358	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 住宅の耐震改修	ア 耐震改修実施件数	件	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 申請受付、相談等	ア 補助金受付件数	件	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
イ 補助金受付	イ 補助金交付件数	件	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 住み続けてもらう
イ 町外の住民	イ 転入してもらう
ウ	ウ 雇用の場を創出する
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 06		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		土木費		住宅費		住宅管理費		木造住宅耐震改修事業費補助金						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金	0	34	0	30	30	-34	0	34	0	30	30	-34			
県支出金	0	17	0	15	15	-17	0	17	0	15	15	-17			
町債									0						
その他特財									0						
一般財源	0	0	0	15	15		0	17	0	15	15	-17			
合計		51		60	60	-51		68		60	60	-68			
財源名称	木造住宅耐震事業費補助金(国費)					従事正職員人数	1	1	1	1	1				
	木造住宅耐震事業費補助金(県費)					延べ業務事務時間	10	10	10	20	20				
						人件費計(千円)(B)	33	34	34	67	67	1			
	最終予算額		0 千円		予算執行率	トータルコスト(A+B)		33	102	34	127	127	-67		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	国及び県への補助金の手続きを行っている。申請件数は0件であるが、住宅の安全性を高めるために必要な事業である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	がけ地近接等危険住宅移転事業費補助金	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
05257	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	建築係	担当者・シート作成者	岡田 悠暉
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	鏡野町がけ地近接等危険住宅移転事業費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・危険住宅の移転等に係る費用の一部を補助し、土砂災害から生命の安全を確保する。 ・見積を所有者に徴収してもらい、補助額を算定し補助を行う。	令和2年度から町内に土砂災害特別警戒区域が指定されたことに伴い、事業に取り組んでいる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標								
ア	町民	ア	人口	人	見込	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
					実績	12,625	12,497	12,358	11,627	11,455
イ		イ			実績	12,625	12,497	12,358		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)								
ア	危険住宅の移転	ア	移転実施件数	件	目標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
					実績	1	1	1	1	1
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
イ		イ			目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標								
ア	申請受付、相談等	ア	申請受付件数	件	目標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
					実績	1	1	1	1	1
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
イ	補助金交付	イ	補助金交付件数	件	目標	1	1	1	1	1
					実績	0	0	0		
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町民	ア	住み続けてもらう
イ	町外の住民	イ	転入してもらう
ウ		ウ	雇用の場を創出する
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		01		08		06		01		01 08					事業番号
	一般会計		土木費		住宅費		住宅管理費		がけ地近接等危険住宅移転事業費補助金							
2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	前年比	決算	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	前年比				
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込					
国庫支出金	0	0	0			国庫支出金	0	0	0							
県支出金	0	0	0			県支出金	0	0	0							
町債						町債										
その他特財						その他特財										
一般財源	0	0	0			一般財源	0	0	0							
合計						合計(A)										
財源名称	がけ地近接等危険住宅移転事業費補助金(国費)				従事正職員人数		1	1	1	1	1					
	がけ地近接等危険住宅移転事業費補助金(県費)				延べ業務事務時間		10	10	10	10	10					
					人件費計(千円)(B)		33	34	34	34	34	1				
	最終予算額		0千円		予算執行率		トータルコスト(A+B)		33	34	34	34	34	1		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	申請がない状況であるが、町民の安全を守るために必要な事業である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	公営住宅等経常管理費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
05278	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	住宅係	担当者・シート作成者	嶋田 麦
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	公営住宅法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町内8か所55戸の公営住宅法により建設された町営住宅の維持管理を行う事業 ・入居者からの修繕申し出があったら現地で調査し、直営で対応できないものは業者へ発注し、費用は住宅使用料を充当する。 住宅:芳野団地 4戸、竹田団地 6戸、小座団地 19戸、円宗寺団地 10戸、湯の坂団地 8戸、細田団地 4戸、女原団地 2戸、羽出団地 2戸	昭和45年度の町営住宅の供用開始時より、老朽化等による建築物又は備付備品の破損修繕及び維持管理のため開始された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町営住宅施設	→	ア	戸	見込	55	55	55	55	55
イ		→	イ		実績	55	55	55		
					見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	支障なく使ってもらう	→	ア	件	目標	10	10	10	10	10
					実績	17	18	16		
					達成率	170.0%	180.0%	160.0%		160.0%
イ	家賃を納付してもらう	→	イ	%	目標	100	100	100	100	100
					実績	99	99	99		
					達成率	99.0%	99.0%	99.0%		99.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	入居者の修繕申出受付	→	ア	件	目標	10	10	10	10	10
					実績	17	18	16		
					達成率	170.0%	180.0%	160.0%		160.0%
イ	苦情などの処理	→	イ	件	目標	5	5	5	5	5
					実績	7	6	3		
					達成率	140.0%	120.0%	60.0%		60.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町民	ア	住み続けてもらう
イ	町外の住民	イ	転入してもらう
ウ		ウ	雇用の場を創出する
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 06		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		土木費		住宅費		住宅管理費		公営住宅等経常管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	05278		
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財		4,079	2,465				-1,614		
一般財源	2,764	4,102	3,846	3,197	3,197	-256	一般財源	2,394	790	3,197	3,197	790			
合計	2,764	4,102	3,846	3,197	3,197	-256	合計(A)	2,394	4,079	3,255	3,197	3,197	-824		
財源名称							従事正職員人数	2	3	3	3	3			
							延べ業務事務時間	40	60	60	60	60			
							人件費計(千円)(B)	134	201	205	202	202	4		
	最終予算額	3,846 千円		予算執行率	84.6%		トータルコスト(A+B)	2,528	4,280	3,460	3,399	3,399	-820		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	現在の入居率は高く、入居者の所得に応じた応益負担により、適正な費用負担と高い収納率を確保できている。一方で住宅の老朽化が進み、修繕要望を多数いただいているほか、退去後に募集が行えない部屋もでてきている。入居希望者の数に対し募集できる住宅の数が不足しており、今後の課題である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	特公賃・その他住宅等経常管理費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
05279	政策名	4	係名	住宅係	担当者・シート作成者	嶋田 麦
	施策名	45	根拠法令等	特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町内6か所の42戸の特公賃、その他住宅の維持管理を行う事業。 ・入居者からの修繕申し出があったら現地で調査し、直営で対応できないものは業者に発注し、費用は住宅使用料を充当する。 住宅:細田2戸、寺ヶ原6戸、中原6戸、ヴィラヤマセミ13戸、エコロマンの丘5戸、ハイランドKAMISAIBARA10戸の6団地、42戸。	平成5年度の町営住宅の供用開始時より、老朽化等による建物又は備付備品の破損修繕及び維持管理のため開始された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町営住宅施設	ア 管理戸数	戸	見込	42	42	42	40	40
イ	イ		実績	42	42	42		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 支障なく使ってもらう	ア 修繕件数	件	目標	10	10	10	10	10
			実績	21	14	16		
			達成率	210.0%	140.0%	160.0%		160.0%
イ 家賃を納付してもらう	イ 家賃収納率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績	95	97	97		
			達成率	95.0%	97.0%	97.0%		97.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 入居者の修繕申し出受付	ア 申出件数	件	目標	10	10	10	10	10
			実績	21	14	16		
			達成率	210.0%	140.0%	160.0%		160.0%
イ 苦情などの処理	イ 苦情処理件数	件	目標	5	5	5	5	5
			実績	2	3	6		
			達成率	40.0%	60.0%	120.0%		120.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 住み続けてもらう
イ 町外の住民	イ 転入してもらう
ウ	ウ 雇用の場を創出する
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 06		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		土木費		住宅費		住宅管理費		特公賃・その他住宅等経常管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	05279		
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財			3,512				3,512		
一般財源	15,253	10,050	3,863	3,387	3,387	-6,187	一般財源	15,089	9,150	5	3,387	3,387	-9,145		
合計	15,253	10,050	3,863	3,387	3,387	-6,187	合計(A)	15,089	9,150	3,517	3,387	3,387	-5,633		
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2	2			
	延べ業務事務時間						100	100	100	100	100	100			
	人件費計(千円)(B)						334	335	342	336	336	336	7		
	最終予算額		3,863 千円		予算執行率		91.0%		トータルコスト(A+B)		15,423	9,485	3,859	3,723	3,723

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	一部修繕や苦情もあるものの、現在入居している住民からは概ね支障なく使っていただいている。その一方で一部の空き住宅は募集しても中々入居がない状況が続いており、入居条件の見直し等を検討する必要があると考えられる。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	林業振興経常管理費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03750-2	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	林道事業推進に係る賦課金の支払い。 岡山県大規模林道建設地域対策協議会(奥津・鏡野地域)	各補助金事業や広域的な林道整備等が必要なため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 林道事業推進団体	ア 団体数	団体	見込 実績	2 2	2 2	1 1	1 1	1 1
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 広域的な林道事業の運営	ア 事業を円滑に実施できた路線数	路線	目標 実績 達成率	7 7 100.0%	5 5 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 負担金(賦課金)の支払い	ア 支払い回数	回	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	3 3 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06		02		02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		林業振興経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	1,663	2,024	398	279	160	-1,626	一般財源	1,523	1,187	398	279	160	-789		
合計	1,663	2,024	398	279	160	-1,626	合計(A)	1,523	1,187	398	279	160	-789		
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間							8	8	8	8	8			
	人件費計(千円)(B)							27	27	27	27	27	1		
	最終予算額	398 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	1,550	1,214	425	306	187	-788		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	大規模林道建設地域対策協議会に必要な賦課金の支払い業務であり、今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	箱線改良事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03824	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (3 年度~ 4 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国庫補助の対象とならないものについて、県補助(小規模林道整備事業)により工事をおこなうもの。 事務 ①補助金申請 ②設計審査 ③実績報告 ④補助金請求 工事 ①測量設計積算 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査 ⑤その他(地元調整)	森林施業に不可欠な道路であり、県道湯原奥津線と鏡野町富東谷集落を結ぶ生活道としても利用されていることから、改良をおこない安全で円滑な通行を確保するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 林道箱線	ア 利用区域面積	ha	見込 実績		166 166	166 166		
イ	イ 林道延長	m	見込 実績		2,451 2,451	2,451 2,451		

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 森林施業の利用向上	ア 改良延長	m	目標 実績 達成率		84 79 94.0%	52 53 101.9%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 施工管理	ア 施工管理	式	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	1 1 100.0%		#DIV/0!
イ 補助事務	イ 補助事務	件	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	1 1 100.0%		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 02		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		08	09	箱線改良事業費					
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比				
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金		945	488		-457	県支出金		864	89			-775				
町債		2,700	2,008		-692	町債		2,400	1,500			-900				
その他特財						その他特財										
一般財源						一般財源		124	900			776				
合計		3,645	2,496		-1,149	合計(A)		3,388	2,489			-899				
財源名称	小規模林道整備事業費補助金					従事正職員人数		1	1							
	過疎債					延べ業務事務時間		50	50							
						人件費計(千円)(B)		168	171			4				
	最終予算額		2,496 千円		予算執行率	99.7%	トータルコスト(A+B)		3,556	2,660			-895			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	林道改良を実施することにより、林道機能の向上や通行車両の安全を確保が図れた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	山口線改良事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03842	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	国庫補助の対象とならないものについて、県補助(小規模林道整備事業)により工事をおこなうもの。 事務 ①補助金申請 ②設計審査 ③実績報告 ④補助金請求 工事 ①測量設計積算 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査 ⑤その他(地元調整)	森林施業に不可欠な道路であり、県道湯原奥津線と鏡野町富東谷集落を結ぶ生活道としても利用されていることから、改良をおこない安全で円滑な通行を確保するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 林道山口線	ア 利用区域面積	ha	見込 実績			46 46		
イ	イ 林道延長	m	見込 実績			730 730		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 森林施業の利用向上	ア 改良延長	m	目標 実績 達成率			7 7 100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 施工管理	ア 施工管理	式	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		#DIV/0!
イ 補助事務	イ 補助事務	件	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06 款		02 項		02 目		07 02 018 予算上の事業名						事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		山口線改良事業費						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金			1,197			1,197	県支出金			2,123			2,123		
町債			3,368			3,368	町債			2,400			2,400		
その他特財							その他特財								
一般財源							一般財源			42			42		
合計			4,565			4,565	合計(A)			4,565			4,565		
財源名称	小規模林道整備事業補助金						従事正職員人数				1		1		
	辺地債						延べ業務事務時間				50		50		
							人件費計(千円)(B)				171		171		
	最終予算額		4,565 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)			4,736		4,736		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	林道改良を実施することにより、林道機能の向上や通行車両の安全を確保が図れた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	裏土地線舗装事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03845	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (3 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国庫補助の対象とならないものについて、県補助(小規模林道整備事業)により工事をおこなうもの。 事務 ①補助金申請 ②設計審査 ③実績報告 ④補助金請求 工事 ①測量設計積算 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査 ⑤その他(地元調整)	森林施業に不可欠な道路であり、国道179号と町道人形峠線の連絡道としても利用されていることから、舗装をおこない安全で円滑な通行を確保するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 林道裏土地線	ア 利用区域面積	ha	見込 実績		72 72	72 72	72	
イ	イ 林道延長	m	見込 実績		2,188 2,188	2,188 2,188	2,188	

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 森林施業の利用向上を図る	ア 舗装延長	m	目標 実績 達成率		220 200 90.9%	260 340 130.8%	520	#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 施工管理	ア 施工管理	式	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	#DIV/0!
イ 補助事務	イ 補助事務	件	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 02		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		07	21	裏土地線舗装事業費					
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金		1,400	3,355	5,346		1,955	県支出金		1,734	3,355	5,346		1,621			
町債		3,400	8,578	12,551		5,178	町債		4,200	7,600	12,551		3,400			
その他特財							その他特財									
一般財源		1,192				-1,192	一般財源		28	972			944			
合計		5,992	11,933	17,897		5,941	合計(A)		5,962	11,927	17,897		5,965			
財源名称	小規模林道整備事業費補助金						従事正職員人数		1	1	1					
	辺地債						延べ業務事務時間		50	50	50					
							人件費計(千円)(B)		168	171	168		4			
	最終予算額		11,933 千円		予算執行率	99.9%		トータルコスト(A+B)		6,130	12,098	18,065		5,969		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	林道舗装を実施することにより、林道機能の向上や通行車両の安全を確保が図れている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	白ツエ線改良事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03846	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	国庫補助の対象とならないものについて、県補助(小規模林道整備事業)により工事をおこなうもの。 事務 ①補助金申請 ②設計審査 ③実績報告 ④補助金請求 工事 ①測量設計積算 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査 ⑤その他(地元調整)	森林施業に不可欠な道路であり、県道湯原奥津線と鏡野町富東谷集落を結ぶ生活道としても利用されていることから、改良をおこない安全で円滑な通行を確保するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 林道白ツエ線	ア 利用区域面積	ha	見込 実績			69 69		
イ	イ 林道延長	m	見込 実績			1,110 1,110		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 森林施業の利用向上	ア 改良延長	m	目標 実績 達成率			32 32 100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 施工管理	ア 施工管理	式	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		#DIV/0!
イ 補助事務	イ 補助事務	件	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		#DIV/0!



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06 款		02 項		02 目		07 02 中事業 予算上の事業名						事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		白ツエ線改良事業費						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金			1,359			1,359	県支出金			832			832		
町債			4,043			4,043	町債			3,700			3,700		
その他特財							その他特財								
一般財源							一般財源			627			627		
合計			5,402			5,402	合計(A)			5,159			5,159		
財源名称	小規模林道整備事業費補助金						従事正職員人数				1		1		
	過疎債						延べ業務事務時間				50		50		
							人件費計(千円)(B)				171		171		
	最終予算額	5,402 千円		予算執行率	95.5%		トータルコスト(A+B)				5,330		5,330		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	林道改良を実施することにより、林道機能の向上や通行車両の安全を確保が図れた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	泉山線開設事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03860	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	県営林道開設事業に係る地元調整、用地提供をおこなうもの。 業務 ①地元調整 ②立木の伐採 ③開設予定地の分筆 ④所有権移転登記 ⑤その他(泉山線進捗率向上検討会)	平成10年度以前から、泉山周辺地域の森林施業を充実するため、広域的な林道整備として計画されたもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 林道泉山線	→	ア 利用区域面積	ha	見込	1,266	1,266	1,266	1,266	1,266
イ	→	イ		実績	1,266	1,266	1,266		
				見込					
				実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 森林施業の利用向上	→	ア 開設延長	m	目標	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600
イ	→	イ		実績	9,870	10,894	12,436		
				達成率	72.6%	80.1%	91.4%		91.4%
				目標					
				実績					
				達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 立木伐採	→	ア 立木伐採	回	目標	2	2	2	2	2
イ 地元協議	→	イ 地元協議	回	実績	9	10	5		
				達成率	450.0%	500.0%	250.0%		250.0%
				目標	6	6	6	6	6
				実績	6	6	6		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 02		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		11	01	泉山線開設事業費					
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	8,000	16,617	5,904	6,675	6,000	-10,713	一般財源	5,871	16,244	5,887	6,675	6,000	-10,357			
合計	8,000	16,617	5,904	6,675	6,000	-10,713	合計(A)	5,871	16,244	5,887	6,675	6,000	-10,357			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	100	100	100	100	100				
							人件費計(千円)(B)	334	335	342	336	336	7			
	最終予算額	5,904 千円		予算執行率	99.7%		トータルコスト(A+B)	6,205	16,579	6,229	7,011	6,336	-10,350			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	県営事業泉山線開設事業に係る地元調整、立木伐採等を実施することにより、森林整備の推進や木材搬出の輸送力向上が図られている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	治山林道管理費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03895	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	補助対象とならない林道の小規模な修繕及び業務委託等のほか、地元団体への原材料支給、幹線林道の除草業務をおこなうもの。 工事 ①測量設計積算 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査 原材料支給・重機借上 ①要望とりまとめ ②審査 ③決定通知 ④実施 ⑤竣工検査 除草業務 ①設計積算 ②業務発注 ③業務管理 ③完了検査	林道の維持管理を実施し、林業経営の安定を図るため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 管内の林道	ア 林道総路線数	路線	見込	129	129	129	129	129
			実績	129	129	129		
イ 地元団体	イ 団体数	団体	見込	129	129	129	129	129
			実績	129	129	129		

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 林道を安全に通ることができるようにする	ア 業務委託・修繕工事 要望等件数	件	目標	15	26	10	10	10
			実績	15	26	10		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ 重機借上・原材料支給 要望件数	件	目標	15	15	18	15	15
			実績	17	28	20		
			達成率	113.3%	186.7%	111.1%		-

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 業務・工事の発注・管理	ア 業務・工事を発注・施工管理	件	目標	16	34	30	10	10
			実績	16	34	30		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		300.0%
イ 重機借上・原材料支給	イ 重機借上 件数	件	目標	10	15	11	8	8
			実績	10	15	11		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		137.5%
ウ	ウ 原材料支給 件数	件	目標	7	13	9	7	7
			実績	7	13	9		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		128.6%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 02		大 18	中 01	予算上の事業名				事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費				治山林道管理費				03895
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	30,949	26,096	42,296	36,670	30,000	16,200	一般財源	30,323	24,771	40,112	36,670	30,000	15,341		
合計	30,949	26,096	42,296	36,670	30,000	16,200	合計(A)	30,323	24,771	40,112	36,670	30,000	15,341		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1	1		
	延べ業務事務時間						120	120	120	120	120	120	120		
	人件費計(千円)(B)						401	402	411	403	403	403	9		
最終予算額	42,296 千円		予算執行率	94.8%		トータルコスト(A+B)	30,724	25,173	40,523	37,073	30,403	15,350			

1枚目

事業番号	03895	事務事業名	治山林道管理費	所管課名	建設課
------	-------	-------	---------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
木材価格が低迷し、森林所有者の施業意欲の低下、林業所得の減少、林業事業者の減少・高齢化等が悪循環をなして進行している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特に無し。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
林業従事者等から林道の修繕等の要望ある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 林道を維持管理することにより、安心安全な通行が図られ、森林の整備・環境保全の推進につながる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 公共施設の適正な維持管理は町の義務であり、森林の整備・環境保全の推進につながる。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町の管理する林道であり、維持管理することにより林道利用者の安心安全な通行が図られる。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 予算規模を拡大すれば成果はより上がる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 林業を取り巻く環境を考慮すると、受益者単独ですべての維持管理を行うことは困難である。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 これ以上の改善余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 林業を取り巻く環境を考慮すると、受益者単独ですべての維持管理を行うことは困難である。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 人件費は、資材支給申請、小規模な工事、除草業務に係るものであり削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 受益地の所有者に最もメリットがあるが、林道維持によって行われる森林施業は森林保全につながり、水源かん養等広い範囲での便益がある。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	森林施業には欠かせない道であり、要望に応じて適正に維持管理していく必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 県、地元等との調整を行いながら事業を実施し、計画的な事業推進を図る。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
なし。																									

事業番号	事務事業名	作業道細田線開設事業	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03936	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (2 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	地元要望により、森林整備及び環境保全のため、過疎対策事業で工事をおこなうもの。 事務 ①起債申請 ②設計審査 ③実績報告 工事 ①測量設計積算 ②用地買収・補償 ③工事発注 ④施工管理 ⑤竣工検査 ⑥その他(地元調整)	生活道路を兼ねた森林施業道の開設について、平成30年度に細田地区より要望があったもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 作業道細田線	ア 利用戸数	戸	見込	17	17	17	17	
			実績	17	17	17		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 工期通りに開設させる	ア 施工延長	m	目標	225	225	225	225	
			実績	225	225	225		
			達成率	100.0%	100.0%	100.2%		
イ 作業道細田線を施工管理する	イ 事業進捗率	%	目標	100	100	100	100	
			実績	100	100	100		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 施工管理	ア 施工管理	式	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
イ 地元調整	イ 地元調整	式	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 02		大事業 24	中事業 07	予算上の事業名					事業番号 03936
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費				作業道細田線開設事業					
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債	5,300		43,944	8,133		43,944	町債	5,300		30,700	8,133		30,700			
その他特財							その他特財									
一般財源	90	7,115				-7,115	一般財源	90	1,027	8,678			7,651			
合計	5,390	7,115	43,944	8,133		36,829	合計(A)	5,390	1,027	39,378	8,133		38,351			
財源名称	過疎債						従事正職員人数		1	1	1	1				
							延べ業務事務時間		80	150	100	100	-50			
							人件費計(千円)(B)		267	503	342	336	-160			
	最終予算額		43,944 千円		予算執行率		89.6%		トータルコスト(A+B)		5,657	1,530	39,720	8,469	38,191	

1枚目

事業番号	03936	事務事業名	作業道細田線開設事業	所管課名	建設課
------	-------	-------	------------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
木材価格が低迷し、森林所有者の施業意欲の低下、林業所得の減少、林業事業者の減少・高齢化等が悪循環をなして進行している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特に無し。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
地元区長や地元地権者からの要望がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 理由説明 事業実施することで、作業道の安全な通行が図られ、森林整備及び環境保全につながる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 理由説明 整備することで、環境保全につながる。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 理由説明 整備することで、利用者の安全な通行が図られる。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している 理由説明 要望に対して概ね対応できている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある 理由説明 林業を取り巻く環境を考慮すると、受益者単独ですべての管理をおこなうことは困難である。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない 理由説明 改善する余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由説明 林道に準じた規格を満たす必要がある。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由説明 削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由説明 受益地の所有者に最も有効であるが、作業道維持によって行われる森林施業は、森林保全につながり水源かん養等広い範囲での便益がある。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	森林施業には欠かせない道であり、要望に応じて適正に整備していく必要がある。																						
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																							
なし。	(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																						

事業番号	事務事業名	作業道細田線開設事業	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03936-0	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	令和3年度から令和4年度の繰越分 ①設計・積算 ②用地買収・補償 ③工事発注・工事管理 ④竣工検査 ⑤地元対応	平成30年度において、細田地区より森林施業に必要な作業道を兼ねた連絡道の開設要望があったことから、改良をおこない林業振興の拡充と生活環境の向上を図るもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 作業道細田線	ア 利用戸数	戸	見込 実績			17 17		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 森林施業の利用向上	ア 施工延長	m	目標 実績 達成率			225 225 100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 施工管理	ア 施工管理	式	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		#DIV/0!
イ 地元調整	イ 地元調整	式	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06 款		02 項		02 目		24 07 中事業 大事業						事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		作業道細田線開設事業						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源			6,088			6,088	一般財源			4,248			4,248		
合計			6,088			6,088	合計(A)			4,248			4,248		
財源名称							従事正職員人数			1			1		
							延べ業務事務時間			50			50		
							人件費計(千円)(B)			171			171		
	最終予算額	6,088 千円		予算執行率	69.7%		トータルコスト(A+B)			4,419			4,419		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	作業道開設を実施することにより、森林整備の推進や木材搬出の輸送力向上が図られている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	美作北線改良事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03937	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (4 年度~ 8 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	地元要望により、森林整備及び環境保全のため、過疎対策事業で工事をおこなうもの。 事務 ①起債申請 ②設計審査 ③実績報告 工事 ①測量設計積算 ②用地買収・補償 ③工事発注 ④施工管理 ⑤竣工検査 ⑥その他(地元調整)	森林基幹道である本路線は、一部部分拡幅による2車線化を完了させておりますが、未完了部分について、越畑地区より拡幅要望があったもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 林道美作北線	ア 利用区域面積	ha	見込 実績			5,194 5,194	5,194	5,194
イ	イ 林道延長	m	見込 実績			20,287 20,287	20,287	20,287
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 工期通りに完成させる	ア 改良延長	m	目標 実績 達成率			446 446 100.0%	446	446
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 設計審査	ア 設計審査	式	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	1	1
イ 地元調整	イ 地元調整	式	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	1	1
ウ	ウ		目標 実績 達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の林業従事者	ア 担い手の確保と森林の保全
イ 町内の森林面積	イ 優良材の生産
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 02		目 02		大事業 24	中事業 08	予算上の事業名				事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費				美作北線改良事業費				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金					10,000		県支出金					10,000			
町債			3,529	4,048	11,000	3,529	町債			2,200	4,048	11,000	2,200		
その他特財							その他特財								
一般財源							一般財源			704			704		
合計			3,529	4,048	21,000	3,529	合計(A)			2,904	4,048	21,000	2,904		
財源名称	過疎債						従事正職員人数				1	1	1	1	
							延べ業務事務時間				50	50	100	50	
							人件費計(千円)(B)				171	168	336	171	
	最終予算額		3,529 千円		予算執行率		82.2%		トータルコスト(A+B)				3,075	4,216	21,336

1枚目

事業番号	03937	事務事業名	美作北線改良事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	-----------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
木材価格が低迷し、森林所有者の施業意欲の低下、林業所得の減少、林業事業者の減少・高齢化等が悪循環をなして進行している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特に無し。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
地元区長や地元地権者からの要望がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 理由説明 事業実施することで、林道の安全な通行が図られ、森林整備及び環境保全につながる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 理由説明 整備することで、環境保全につながる。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 理由説明 整備することで、利用者の安全な通行が図られる。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している 理由説明 要望に対して概ね対応できている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある 理由説明 林業を取り巻く環境を考慮すると、受益者単独ですべての管理をおこなうことは困難である。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない 理由説明 改善する余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由説明 林道に準じた規格を満たす必要がある。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由説明 削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由説明 受益地の所有者に最も有効であるが、林道維持によって行われる森林施業は、森林保全につながり水源かん養等広い範囲での便益がある。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	森林施業には欠かせない道であり、要望に応じて適正に整備していく必要がある。																						
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 県との調整を行ないながら事業費を確保し、計画的な事業推進を図る。																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
なし。																							

事業番号	事務事業名	小規模土地改良事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己	
03415	政策名	2	地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	21	農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	国庫補助事業対象外の小規模なものについて、地元関係者からの要望により、農業基盤整備をおこなうもの。 ①要望のとりまとめ ②補助金申請 ③測量設計積算 ④発注監理 ⑤竣工検査 ⑥実績報告 ⑦地元分担金徴収 ⑧補助金請求	国庫補助事業対象外の小規模なものについて、農業基盤整備をおこない農業経営の安定を図るため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 農地	ア 耕地面積	ha	見込 実績	1,820 1,820	1,810 1,810	1,810 1,810	1,810	1,810
イ 農家	イ 総農家数	戸	見込 実績	1,418 1,418	1,418 1,418	1,418 1,418	1,418	1,418
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 農作物の効率化、維持軽減	ア 要望件数	件	目標 実績 達成率	7 7 100.0%	7 5 71.4%	4 4 100.0%	5	4 100.0%
イ 農道橋梁点検	イ 調査橋数	橋	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	16 17 106.3%	0 0 #DIV/0!	3	0 #DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 設計施行監理	ア 設計施行監理件数	件	目標 実績 達成率	7 7 100.0%	7 6 85.7%	4 4 100.0%	6	4 100.0%
イ 事務	イ 事務件数	件	目標 実績 達成率	7 7 100.0%	7 6 85.7%	4 4 100.0%	6	4 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の農業従事者	ア 農業を継続してもらう
イ 農地	イ 農地の保全
ウ	ウ 担い手の育成・確保
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06		01		05		03 01						事業番号
	一般会計		農林水産業費		農業費		農地費		小規模土地改良事業費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金	7,777	21,493	5,918	22,664	18,000	-15,575	県支出金	7,777	21,493	5,918	22,664	18,000	-15,575		
町債							町債								
その他特財	4,757	12,391	3,037	9,438	8,000	-9,354	その他特財	4,757	10,791	3,037	9,438	8,000	-7,754		
一般財源	14,618	20,466	10,370	15,346	8,000	-10,096	一般財源	14,618	15,423	9,673	15,346	8,000	-5,750		
合計	27,152	54,350	19,325	47,448	34,000	-35,025	合計(A)	27,152	47,707	18,628	47,448	34,000	-29,079		
財源名称	小規模土地改良事業費補助					従事正職員人数	1	1	1	1	1				
	地元分担金(負担金)					延べ業務事務時間	40	40	40	40	40				
						人件費計(千円)(B)	134	134	137	134	134	3			
	最終予算額		19,325 千円	予算執行率	96.3%		トータルコスト(A+B)	27,286	47,841	18,765	47,582	34,134	-29,076		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地元要望を取りまとめ、緊急性や重要性等を考慮し、施設の改善を図った。 農業生産の基盤である農業用施設の改修であり、今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	農業用施設管理費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03445	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・農業用施設利用者の団体(水利組合等)が、施設の構造・維持管理をおこなう上で、必要な原材料の支給及び簡易な修繕に対し重機借上料を支払うもの。 ①要望のとりまとめ ②審査 ③決定通知 ④実施 ⑤竣工検査 ⑥補助金支払い	農業用施設の維持管理を実施し、農業経営の安定を図るため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	農地	→	ア	ha	見込	1,820	1,810	1,810	1,810	1,810
					実績	1,820	1,810	1,810		
イ		→	イ		見込					
					実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	農業用施設を適切に維持してもらう	→	ア	件	目標	62	71	49	50	50
					実績	62	67	51		
					達成率	100.0%	94.4%	104.1%		102.0%
イ	原材料支給	→	イ	件	目標	49	59	52	50	50
					実績	49	51	48		
					達成率	100.0%	86.4%	92.3%		96.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	重機借上	→	ア	件	目標	62	67	51	50	50
					実績	62	67	51		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		102.0%
イ	原材料支給	→	イ	件	目標	49	51	48	50	50
					実績	49	51	48		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		96.0%
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の農業従事者	ア 農業を継続してもらう
イ 農地	イ 農地の保全
ウ	ウ 担い手の育成・確保
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 06		項 01		目 05		大 09		中 01		事業名		事業番号
	一般会計		農林水産業費		農業費		農地費		09		01		農業用施設管理費		
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	03445	
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財		87	90			3	その他特財		87	90			3		
一般財源	14,061	14,384	10,012	7,115	7,000	-4,372	一般財源	10,830	13,715	9,523	7,115	7,000	-4,192		
合計	14,061	14,471	10,102	7,115	7,000	-4,369	合計(A)	10,830	13,802	9,613	7,115	7,000	-4,189		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						30	30	30	30	30	30			
	人件費計(千円)(B)						100	101	103	101	101	101	2		
	最終予算額		10,102 千円		予算執行率		95.1%	トータルコスト(A+B)		10,930	13,903	9,716	7,216	7,101	-4,187

1枚目

事業番号	03445	事務事業名	農業用施設管理費	所管課名	建設課
------	-------	-------	----------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
機械リース料、資材単価等が物価変動により上昇している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
申請単価等の動向を確認し限度額の改訂に取り組んでいる。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
受益者負担の軽減が地元水利組合等の活動に直接結びついており、事業の継続が望まれている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	災害を未然に防止し、生活の安定に繋がることができる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	災害を未然に防止し、生活の安定に繋がることができる。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	地元関係者の要望に適切に対応できている。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	地元関係者の要望に適切に対応できている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	事業を廃止・休止した場合、受益者負担が増大し、農業用施設の老朽化・機能不全については、農地の荒廃及び放棄に影響する。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	他事業なし。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	一般的に農業施設の修繕は費用負担がネックとなる。工事の場合何%か分担金を徴収しなければならないが、原材料支給は町に負担金を支払う必要がないため、要望が多い。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	ほとんどの業務が要望の受付、完了検査、現金支出なので、これ以上の削減は難しい。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	受益者組合の有志による施行であるため、公平。補助の対象は町内全域の水利組合であり公平公正である。	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	単独町費であるので、予算の増大を引き締める必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 改善余地なし。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
なし。																									

事業番号	事務事業名	農村地域防災減災事業	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03561	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (31 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	香々美川土地改良区及び地元関係者からの要望により、自然災害を未然に防ぎ、地域住民の防災力向上を図るもの。 ①要望とりまとめ ②補助金申請 ③測量設計積算 ④工事発注 ⑤竣工検査 ⑥実績報告 ⑦補助金請求	平成10年台風10号豪雨災害及び平成30年7月豪雨災害により、農地・農業用施設が洪水被害を受けた経緯から、防災力の向上・安定を図るため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	大蔵池、小池峪池	→	ア	箇所	見込		1	2	2	0
					実績		1	2		
イ	大井手頭首工	→	イ	箇所	見込	1	1	1	1	0
					実績	1	1	1		

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	危険なため池を廃止	→	ア	箇所	目標		1	2	2	0
					実績		1	2		
					達成率		100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ	危険な頭首工の改修	→	イ	箇所	目標	1	1	1	1	0
					実績	1	1	1		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!

③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	地元調整	→	ア	回	目標		3	6	6	0
					実績		3	6		
					達成率		100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ	地元調整	→	イ	回	目標	3	3	3	3	0
					実績	3	3	3		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の農業従事者	ア	農業を継続してもらう
イ	農地	イ	農地の保全
ウ		ウ	担い手の育成・確保
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06		01		05		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		農林水産業費		農業費		農地費		農村地域防災減災事業						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	見込			
国庫支出金	5,500	15,000	39,191	5,000		24,191	国庫支出金	5,500	6,639	16,465	5,000		9,826		
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	39,500	1,720	685	850		-1,035	その他特財	39,300		685	850		685		
一般財源	1,497	76,138	27,830	22,200		-48,308	一般財源	1,397	74,088	23,738	22,200		-50,350		
合計	46,497	92,858	67,706	28,050		-25,152	合計(A)	46,197	80,727	40,888	28,050		-39,839		
財源名称	農業水路等長寿命化・防災減災事業費補助				従事正職員人数			1	1	1	1				
	地元分担金				延べ業務事務時間			40	50	50	50				
					人件費計(千円)(B)			134	168	171	168		4		
	最終予算額		67,706 千円		予算執行率		60.3%		トータルコスト(A+B)		46,331	80,895	41,059	28,218	-39,835

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	関係機関と調整を行い、防災力向上に貢献することができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	農村地域防災減災事業	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03561-0	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	(令和3年度→令和4年度繰越) 地元関係者からの要望により、自然災害を未然に防ぎ、地域住民の防災力向上を図るもの。	平成10年台風10号豪雨災害及び平成30年7月豪雨災害により、農地・農業用施設が洪水被害を受けた経緯から、防災力の向上・安定を図るため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 池の奥池	ア ため池数(廃止)	箇所	見込 実績			1 1	0	0
イ 大井手頭首工	イ 頭首工数(改修)	箇所	見込 実績			1 1	0	0

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 危険なため池を廃止	ア ため池数	箇所	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	0	0 #DIV/0!
イ 危険な頭首工の改修	イ 頭首工数	箇所	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	0	0 #DIV/0!

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地元調整	ア 調整回数(協議等)	回	目標 実績 達成率			3 3 100.0%	0	0 #DIV/0!
イ 地元調整	イ 調整回数(協議等)	回	目標 実績 達成率			3 3 100.0%	0	0 #DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の農業従事者	ア 農業を継続してもらう
イ 農地	イ 農地の保全
ウ	ウ 担い手の育成・確保
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06 款		01 項		05 目		24 01 予算上の事業名						事業番号
	一般会計		農林水産業費		農業費		農地費		農村地域防災減災事業						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金			8,361			8,361	県支出金			8,361			8,361		
町債							町債								
その他特財			1,670			1,670	その他特財								
一般財源			1,550			1,550	一般財源			1,005			1,005		
合計			11,581			11,581	合計(A)			9,366			9,366		
財源名称	農業水路等長寿命化・防災減災事業費補助						従事正職員人数						1		
	地元分担金						延べ業務事務時間						60		
							人件費計(千円)(B)						205		
	最終予算額		11,581 千円		予算執行率		80.8%		トータルコスト(A+B)		9,571		9,571		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
見直し余地がある	向上余地がある	関係機関と調整を行い、防災力向上に貢献することができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	見直し余地がある	

事業番号	事務事業名	香々美ダム経常管理費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03602	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林係	担当者・シート作成者	小原 修三
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	岡山県から管理委譲を受けた香々美ダムの維持管理をおこなうもの。 ①補助金申請 ②維持管理 ③竣工検査 ④実績報告 ⑤補助金請求	洪水被害の防止及び農業用水の確保を目的とした香々美ダムは、昭和48年度に完成したのち、昭和50年4月1日から岡山県より管理委託を受託したため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 香々美ダム	ア 総貯水量	m3	見込 実績	1,853 1,853	1,853 1,853	1,853 1,853	1,853	1,853
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 洪水被害の防止	ア 防災受益面積	ha	目標 実績 達成率	447 447 100.0%	447 447 100.0%	447 447 100.0%	447	447
イ 農業用水の確保	イ 農業用水確保可能な受益面積	ha	目標 実績 達成率	675 675 100.0%	675 675 100.0%	675 675 100.0%	675	675

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 水防体制	ア 水防体制件数	件	目標 実績 達成率	10 16 160.0%	10 30 300.0%	10 14 140.0%	10	10
イ 事務	イ 事務件数	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の農業従事者	ア 農業を継続してもらう
イ 農地	イ 農地の保全
ウ	ウ 担い手の育成・確保
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06		01		06		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		農林水産業費		農業費		農業施設費		香々美ダム経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金	7,200	9,728	13,728	12,187	12,187	4,000	県支出金	7,200	9,728	13,730	12,187	12,187	4,002		
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	9,537	5,589	6,637	4,842	4,842	1,048	一般財源	8,163	5,249	5,255	4,842	4,842	6		
合計	16,737	15,317	20,365	17,029	17,029	5,048	合計(A)	15,363	14,977	18,985	17,029	17,029	4,008		
財源名称	基幹的農業水利施設適正管理事業費補助					従事正職員人数	1	1	1	1	1				
						延べ業務事務時間	300	300	300	300	300				
						人件費計(千円)(B)	1,003	1,005	1,026	1,009	1,009	21			
	最終予算額		20,365 千円	予算執行率	93.2%		トータルコスト(A+B)	16,366	15,982	20,011	18,038	18,038	4,029		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	鏡野町の農業用水及び発電用水、治水等に対して、適切に管理、運用が出来ていた。農業用水の確保及び洪水被害の防止のため、今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名		小公園経常管理費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
03606	政策名	2	地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	小林 伸弘
	施策名	21	農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	土地改良総合整備事業で整備した、農村公園・ため池公園の維持管理に係る委託料を施設管理者に支払うもの。 ①極楽寺池公園(100千円) ②大峪池公園(50千円)	土地改良総合整備事業の特認事業として農村生活環境の改善により、土地改良施設以外の公園整備として設置したため。(平成15年度より地元委託)

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	小公園	→	ア	箇所	見込	2	2	2	2	2
					実績	2	2	2		
イ	管理団体	→	イ	団体	見込	2	2	2	2	2
					実績	2	2	2		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	適正な維持管理を行う	→	ア	件	目標	2	2	2	2	2
					実績	2	2	2		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	事務	→	ア	件	目標	2	2	2	2	2
					実績	2	2	2		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	修繕工事	→	イ	件	目標	1	1	1	1	1
					実績	0	0	0		
					達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の農業従事者	ア	農業を継続してもらう
イ	農地	イ	農地の保全
ウ		ウ	担い手の育成・確保
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06		01		06		01		06		01		06		01		06		事業番号
	一般会計		農林水産業費		農業費		農業施設費		01		06		01		06		01		06		
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比					03606			
	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込									
国庫支出金							国庫支出金														
県支出金							県支出金														
町債							町債														
その他特財	21	11	3			-8	その他特財	21	10	3								-7			
一般財源	229	239	147	150	150	-92	一般財源	129	140	147	150	150	7					7			
合計	250	250	150	150	150	-100	合計(A)	150	150	150	150	150	0					0			
財源名称	中山間地域保全基金利子						従事正職員人数	1	1	1	1	1									
							延べ業務事務時間	8	8	8	8	8									
							人件費計(千円)(B)	27	27	27	27	27	1					1			
	最終予算額		150 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	177	177	177	177	177	1					1		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	平成15年度より継続して実施している本事業により、小公園の景観の保持、環境の整備が促進されている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	土木総務経常管理費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04651	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	瀬島 豊
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・道路、河川等の整備を促進する各期成会への参画事業。 ・会議出席、要望活動(国土交通省・県選出国會議員・岡山県)負担金支出事務。	土木事業全般を管理するための一般事務費

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国、県、町道	ア 路線延長	km	見込 実績	625 625	625 625	625 625	625	625
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 国県道を最適化に改良・維持	ア 県による適切対応	式	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 要望活動(岡山県、国土交通省、国會議員)	ア 陳情、要望活動回数	回	目標 実績 達成率	15 15 100.0%	15 15 100.0%	15 15 100.0%	15	100.0%
イ 負担金支出事務	イ 総会、幹事会への出席回数	回	目標 実績 達成率	18 18 100.0%	18 18 100.0%	18 18 100.0%	18	100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 01 土木管理費		目 01 土木総務費		予算上の事業名 土木総務経常管理費						事業番号 04651
	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,307	1,215	1,039	1,100	1,100	-176	一般財源	889	902	889	1,100	1,100	-13		
合計	1,307	1,215	1,039	1,100	1,100	-176	合計(A)	889	902	889	1,100	1,100	-13		
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間	15	15	15	15	15			
							人件費計(千円)(B)	50	50	51	50	50	1		
	最終予算額	1,039 千円		予算執行率	85.5%		トータルコスト(A+B)	939	952	940	1,150	1,150	-12		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	岡山県・鏡野町が管理する道路に関する期成会等への参加及び負担金等であり、今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	道路橋梁総務経常管理費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04671	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	瀬島 豊
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	各年度の町道の認定、廃止、区域の変更データを更新し、普通交付税等の統計資料を作成し、適切な道路管理の資料として利用する。	道路法に基づき行政財産として、適切な管理を行う。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道及び付帯施設	ア 町道延長	km	見込 実績	460 460	460 460	460 460	460	460
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道の適切な台帳整備	ア 修正路線数	件	目標 実績 達成率	8 4 50.0%	8 12 150.0%	10 7 70.0%	10	10 70.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道台帳修正業務	ア 修正業務の発注	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ 町道路線網図作成業務	イ 網図作成業務の発注	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 02 道路橋梁費		目 01 道路橋梁総務費		予算上の事業名 道路橋梁総務経常管理費						事業番号 04671
	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財			2,634				2,634	
一般財源	3,790	4,840	3,450	3,500	3,500	-1,390	一般財源	2,120	2,634		3,500	3,500	-2,634		
合計	3,790	4,840	3,450	3,500	3,500	-1,390	合計(A)	2,120	2,634	2,634	3,500	3,500	0		
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1	1		
	積算 延べ業務事務時間							10	10	10	10	10	10		
	人件費計(千円)(B)							33	34	34	34	34	34	1	
	最終予算額		3,450 千円		予算執行率		76.3%		トータルコスト(A+B)		2,153	2,668	2,668	3,534	3,534

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	道路法に基づくものであり、今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	道路維持経常管理費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04700	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	瀬島 豊
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	土木工事の設計書作成に伴う、積算システム及び設計図書作成システムの利用委託料と保守管理料	土木積算・設計業務の適切及び迅速化を図るため毎年度契約

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア システムを利用する職員	ア 利用者数	人	見込 実績	5 5	5 5	5 5	5	5
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 土木事業設計書の的確性・迅速性の向上	ア システムの利用数	件	目標 実績 達成率	50 37 74.0%	35 30 85.7%	35 38 108.6%	35	35 108.6%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 委託契約事務	ア 契約件数	件	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 08 土木費		02 項 02 道路橋梁費		02 目 02 道路維持費		01 01 大事業 中事業 予算上の事業名 道路維持経常管理費						04700 事業番号
	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,410	1,210	1,203	1,200	1,200	-7	一般財源	1,187	1,186	1,187	1,200	1,200	1		
合計	1,410	1,210	1,203	1,200	1,200	-7	合計(A)	1,187	1,186	1,187	1,200	1,200	1		
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間	4	4	4	4	4			
							人件費計(千円)(B)	13	13	14	13	13	0		
	最終予算額	1,203 千円		予算執行率	98.6%		トータルコスト(A+B)	1,200	1,199	1,201	1,213	1,213	1		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	土木工事の積算を行う上で必要なシステムであり、今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	道路維持補修事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04705-0	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	瀬島 豊
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	令和3年度から令和4年度の繰越分 道路の陥没等においては、建設課職員の直営作業により早急な補修を行っている。 緊急性の高い請負工事については、随意契約により発注し早期対応による安全性の確保に努めている。 また、指定路線の町道においては年1回の除草業務委託を発注している。	車両及び歩行者の通行を安全性・安心性かつ快適さを確保するため。 町民を始め、区長や関係機関からの要望・協議などにより対応しています。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道及び付帯施設	ア 町道総延長	km	見込 実績			460 460		
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道の適切な維持管理	ア 事故件数	件	目標 実績 達成率			0 0 #DIV/0!		#DIV/0!
イ 改善要望に対応する	イ 対応率	%	目標 実績 達成率			100 70 70.0%		#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 道路のパトロール	ア パトロールの回数	式	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		#DIV/0!
イ 補習工事の発注数	イ 補習箇所	箇所	目標 実績 達成率			100 100 100.0%		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路維持費		道路維持補修事業費						
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	04705-0	
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源			3,520			3,520	一般財源			3,520			3,520		
合計			3,520			3,520	合計(A)			3,520			3,520		
財源名称	従事正職員人数										2		2		
	延べ業務事務時間										15		15		
	人件費計(千円)(B)										51		51		
	最終予算額	3,520 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)				3,571		3,571		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	鏡野町が管理する道路の修繕費であり、今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	道路維持補修事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04705	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	瀬島 豊
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	道路の陥没等においては、建設課職員の直営作業により早急な補修を行っている。 緊急性の高い請負工事については、随意契約により発注し早期対応による安全性の確保に努めている。 また、指定路線の町道において年1回の除草業務委託を発注している。	車両及び歩行者の通行を安全性・安心性かつ快適さを確保するため。 町民を始め、区長や関係機関からの要望・協議などにより対応しています。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道及び付帯施設	ア 町道総延長	km	見込 実績	460 460	460 460	460 460	460	460
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道の適切な維持管理	ア 事故件数	件	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 1 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0	0
イ 改善要望に対応する	イ 対応率	%	目標 実績 達成率	70 70 100.0%	100 70 70.0%	100 70 70.0%	100	100

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 道路のパトロール	ア パトロールに回数	式	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ 補修工事の発注数	イ 補修箇所	箇所	目標 実績 達成率	100 100 100.0%	100 100 100.0%	125 125 100.0%	130	130



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路維持費		道路維持補修事業費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	04705		
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町 債						町 債									
その他特財						その他特財									
一般財源	94,300	96,845	133,179	130,000	130,000	36,334	一般財源	94,111	84,851	132,306	130,000	130,000	47,455		
合計	94,300	96,845	133,179	130,000	130,000	36,334	合計(A)	94,111	84,851	132,306	130,000	130,000	47,455		
財源名称	従事正職員人数						10	10	10	10	10				
	延べ業務事務時間						2,800	2,800	2,800	2,800	2,800				
	人件費計(千円)(B)						9,360	9,380	9,579	9,414	9,414	199			
	最終予算額		133,179 千円	予算執行率		99.3%	トータルコスト(A+B)		103,471	94,231	141,885	139,414	139,414	47,654	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	鏡野町が管理する道路の修繕費であり、今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	除排雪事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04710	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	瀬島 豊
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	毎年12月1日から3月31日の4ヶ月間を除雪作業期間と定め、鏡野町内の国、県、町道の道路除雪業務を全て委託業務により実施する。	鏡野町内では冬期間において降雪があり、除雪により安全な交通網の確保が必要であるため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道及び付帯施設	ア 町道総延長	km	見込 実績	460 460	460 460	460 460	460	460
イ	イ 国道道総延長	km	見込 実績	165 165	165 165	165	165	165
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道の適切な維持管理	ア 通行不能件数	件	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0	0
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 現場監督、指示	ア 除雪日数	日	目標 実績 達成率	50 43 86.0%	50 71 142.0%	50 99 198.0%	50	50
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路維持費		除排雪事業費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金		1,000	15,000			14,000			
県支出金	70,000	60,000	150,000	70,000	90,000	県支出金	101,386	163,128	137,279	70,000	70,000	-25,849			
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	113,869	157,645	98,612	130,000	130,000	-59,033	一般財源	26,777	45,825	40,438	130,000	130,000	-5,387		
合計	183,869	217,645	248,612	200,000	200,000	30,967	合計(A)	128,163	209,953	192,717	200,000	200,000	-17,236		
財源名称	国県道除雪委託金					従事正職員人数	5	5	5	5	5				
	臨時道路除雪事業費補助金					延べ業務事務時間	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000				
						人件費計(千円)(B)	6,686	6,700	6,842	6,724	6,724	142			
	最終予算額 248,612 千円					予算執行率	77.5%	トータルコスト(A+B)	134,849	216,653	199,559	206,724	206,724	-17,094	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	鏡野町が除雪する道路の除雪費であり、今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	除雪車整備事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04714	政策名	4	係名	土木係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	48	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	○老朽化した除排雪機械の更新及び新規導入を行う事業 ○更新・増強の要望→申請手続き→設計・仕様書の作成(市場価格の調査) → 入札・契約→変更申請手続き→中間・納入検査→納車→支払い・完了実績報告	除排雪機械の経年の老朽化に伴い、出力低下等の原因で作業遅延が発生することがないよう、老朽化の除雪機械の更新・増強を実施する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 除雪機械	ア 除雪機械購入台数	台	見込	0	0	3	5	3
イ	イ		実績	0	0	0		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 除雪作業の効率化、安全性の向上	ア 降雪による不定期な通行止め数	回	目標			0	0	0
イ	イ		実績	0	0	0		
			達成率			#DIV/0!		#DIV/0!
			目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 入札・契約・検査・支払い	ア 支払い回数	回	目標	0	0	3	5	3
イ	イ		実績	0	0	0		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0%		0.0%
			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	02	03	05	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路維持費	03	05	除雪車整備事業費						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債				119,100	69,000		町債				119,100	69,000				
その他特財							その他特財									
一般財源				4,000			一般財源				4,000					
合計				123,100	69,000		合計(A)				123,100	69,000	0			
財源名称	辺地対策事業債						従事正職員人数				2	2	2	2		
							延べ業務事務時間				50	80	60	50		
							人件費計(千円)(B)				171	269	202	171		
	最終予算額		0 千円		予算執行率		トータルコスト(A+B)					171	123,369	69,202	171	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	社会情勢により半導体などの部品調達に時間を要したため、納入が令和5年度となった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	社会資本統合整備交付金事業	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04715	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	毎年12月1日から3月31日の4ヶ月間を除雪作業期間と定め、鏡野町内の雪寒指定路線の町道の道路除雪業務を全て委託業務により実施する。	鏡野町内では冬期間において降雪があり、除雪により安全な交通網の確保が必要であるため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道	ア 雪寒指定路線延長	km	見込 実績	113 113	113 113	113 113	113	113
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道の適切な維持管理	ア 通行不能件数	件	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0	0
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 現場監督、指示	ア 除雪日数	日	目標 実績 達成率	50 43 86.0%	50 71 142.0%	50 99 198.0%	50	50
イ	イ	日	目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路維持費		社会資本統合整備交付金事業						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金	948	2,001	834	2,001	2,001	-1,167	国庫支出金	948	1,686	834	2,001	2,001	-852		
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	2,352	1,299	466	1,299	1,299	-833	一般財源	1,035	1,225	441	1,299	1,299	-784		
合計	3,300	3,300	1,300	3,300	3,300	-2,000	合計(A)	1,983	2,911	1,275	3,300	3,300	-1,636		
財源名称	社会資本統合整備交付金					従事正職員人数	1	1	1	1	1				
						延べ業務事務時間	50	50	50	50	50				
						人件費計(千円)(B)	167	168	171	168	168	4			
	最終予算額	1,300 千円	予算執行率	98.0%	トータルコスト(A+B)	2,150	3,079	1,446	3,468	3,468	-1,632				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	鏡野町が除雪する道路の除雪費であり、今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	道路河川愛護費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04720	政策名	4	係名	土木係	担当者・シート作成者	西村 淳子
	施策名	48	根拠法令等	鏡野町道路愛護会規程(平成17年3月1日告示第49号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	道路愛護を目的とし、各地区で愛護会を組織する。 ①毎年春秋2期に補修(道つくり) ②地区内にある里道の補修 ③道路愛護思想の普及 ④道路の災害箇所等を町に報告する ⑤道路損傷行為などの通報 上記作業について実績報告のあった愛護会に対し予算の範囲内で報奨金を	平成17年の町村合併を期に、町全体で道路・河川愛護活動を啓蒙し、地区単位で美化・補修に努め、住みよい環境を整備する目的で開始。地域の要望により令和元年度から補助金額を1戸あたり500円→1000円に増額している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 全自治会内の町道	ア 町道総延長	km	見込 実績	460 460	460 460	460 460	460	460
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町内全ての自治会の参加	ア 事業実施地区数	地区	目標 実績 達成率	94 94 100.0%	94 94 100.0%	94 94 100.0%	94	94
イ 町道の適切な管理	イ 事業に参加した戸数	戸	目標 実績 達成率	4,450 4,456 100.1%	4,500 4,471 99.4%	4,500 4,425 98.3%	4,500	4,500
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 受付・支払い	ア 受付・支払回数	回	目標 実績 達成率	188 188 100.0%	188 188 100.0%	188 188 100.0%	188	188
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 02		02 大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路維持費		04 01		道路河川愛護費					
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	4,500	4,500	4,500	5,430	5,430		一般財源	4,456	4,471	4,425	5,430	5,430	-46			
合計	4,500	4,500	4,500	5,430	5,430		合計(A)	4,456	4,471	4,425	5,430	5,430	-46			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	6	50	30	30	30	-20			
							人件費計(千円)(B)	20	168	103	101	101	-65			
	最終予算額	4,500 千円		予算執行率	98.3%		トータルコスト(A+B)	4,476	4,639	4,528	5,531	5,531	-111			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地域における道路愛護活動に補助を行うものであり、道路の適切な維持管理のため必要な事業である。補助の増額の要望が多数あることから、令和5年度より額の増額を予定している。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	単独改良事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04770-0	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 健治
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	令和3年度から令和4年度の繰越分 地区要望及び道路管理者として道路整備を要する危険個所で、緊急性の高い箇所より順次工事発注し、道路の整備を図り諸車通行の安全を図る。	高度経済成長時代に車社会到来に伴う時期から、自動車の通行可能な道路及び大型車の通行可能な幹線道路が必要とされ、補助対象とならない箇所の整備を単独町費で整備している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道及び付帯施設	→	ア 町道総延長	km	見込	460	460	460	460	460
イ	→	イ		実績	460	460	460		
				見込					
				実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道の適切な維持管理	→	ア 苦情、トラブル、要望数	件	目標	70	100	100	100	100
イ 地区要望に対応する	→	イ 対応率	%	実績	100	100	100		
				達成率	142.9%	100.0%	100.0%		100.0%
				目標	70	70	70	70	70
				実績	70	70	70		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 道路改良工事の発注	→	ア 整備件数	件	目標	4	4	4	4	4
イ	→	イ		実績	2	4	4		
				達成率	50.0%	100.0%	100.0%		100.0%
				目標					
				実績					
				達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 款 08		01 項 02		01 目 03		03 01 大事業 中事業						事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費		予算上の事業名						
			単独改良事業費		単独改良事業費						04770-0				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債			3,500			3,500	町債			3,500			3,500		
その他特財							その他特財								
一般財源			4,280			4,280	一般財源			4,271			4,271		
合計			7,780			7,780	合計(A)			7,771			7,771		
財源名称	従事正職員人数									3			3		
	延べ業務事務時間									120			120		
	人件費計(千円)(B)									411			411		
	最終予算額	7,780 千円		予算執行率	99.8%		トータルコスト(A+B)			8,182			8,182		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	鏡野町が管理する道路の改良費であり改正の余地なし。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	単独改良事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04770	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	西村 淳子
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	地区要望及び道路管理者として道路整備を要する危険個所で、緊急性の高い箇所より順次工事発注し、道路の整備を図り、諸車通行の安全を図る。	高度成長時代の車社会到来に伴う次期から、自動車の通行可能な道路及び大型車の通行可能な幹線道路が必要とされ、補助対象とならない箇所の整備を単独町費で整備している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道及び付帯施設	ア 町道総延長	km	見込	460	460	460	460	460
			実績	460	460	460		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 改良率を向上させる	ア 道路改良率	%	目標	53	53	53	53	53
			実績	52	52	52		
			達成率	98.9%	98.9%	98.1%		98.1%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 必要箇所を精査	ア 改良工事の発注	件	目標	4	4	4	4	4
			実績	2	4	6		
			達成率	50.0%	100.0%	150.0%		150.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 08 土木費		項 02 道路橋梁費		目 03 道路新設改良費		大事業 03 01	中事業 01 単独改良事業費					事業番号 04770
	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績		3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債		11,300	3,500	10,000	10,000	-7,800	町 債		11,300	3,500	10,000	10,000	-7,800		
その他特財							その他特財								
一般財源	31,800	16,809	23,006	30,000	30,000	6,197	一般財源	31,288	7,696	19,802	30,000	30,000	12,106		
合計	31,800	28,109	26,506	40,000	40,000	-1,603	合計(A)	31,288	18,996	23,302	40,000	40,000	4,306		
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債						従事正職員人数		3	3	3	3	3		
							延べ業務事務時間		120	120	120	120	120		
							人件費計(千円)(B)		401	402	411	403	403		
	最終予算額		26,506 千円	予算執行率		87.9%	トータルコスト(A+B)		31,689	19,398	23,713	40,403	40,403	4,315	

事業番号	04770	事務事業名	単独改良事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	---------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
各家庭における自家用車の保有台数増加に伴い、道路構造の改良及び修繕が非常に増大している。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
財源の模索で、単独費の削減に努力している。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
地区及び利害関係者から道路改良についての要望が多数寄せられており、この事業により非常に喜ばれている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 利用者の安全な通行が確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町道であり、公共性があるため妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 道路改良することで安全な通行が確保される。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 特になし。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 町道の利用者が安全な通行ができない状態となる。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 削減の余地はない。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町道を利用する町民が公平に安全な通行が可能である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業での町道改良により、通行環境は以前により大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができた。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 特になし		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
特になし																									

事業番号	事務事業名	町道古川小座線歩道新設事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04837-0	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 健治
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (3 年度~ 5 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	・町道への歩道設置を過疎対策事業で行う事業 L=800m W=5.0m	本路線は、真加部と宗稜を繋ぐ生活道路で、児童が通う通学路にもなっており、車両同士がやっ とすれ違いが出来る程度の幅員の道路である。 近年、通行車両が増加し、大型車両の通行を考 慮する必要がある。また、歩道がないことから、 児童等歩行者の交通の安全確保が憂慮されて いる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道を利用する車輛、歩行者	ア 推計通行車両台数(一日平均)	台	見込 実績	500 500	500 500	500 500	500	
イ	イ 町道古川小座線総延長	m	見込 実績	3,423 3,423	3,423 3,423	3,423 3,423	3,423	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 利用者に安全な道づくり	ア 改良延長	m	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	90 90 100.0%	510 510 100.0%	260	#DIV/0!
イ	イ 不具合・トラブル・要望件数	件	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0	#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 工事管理、業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標 実績 達成率	50 50 100.0%	100 100 100.0%	100 100 100.0%	100	#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 03		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費		町道古川小座線歩道新設事業費						
	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	04837-0	
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債			700			700	町債			700			700		
その他特財							その他特財								
一般財源			13			13	一般財源			13			13		
合計			713			713	合計(A)			713			713		
財源名称	過疎対策事業債						従事正職員人数						2		
							延べ業務事務時間						100		
							人件費計(千円)(B)						342		
	最終予算額		713 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)						1,055

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	令和5年度に繰越事業 道路改良により、通行環境は以前より大いに改善し、快適な道路網の整備に 繋げることができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	町道古川小座線歩道新設事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04837	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	牧野 健治
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (3 年度~ 5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町道への歩道設置を過疎対策事業で行う事業 L=860m W=5.0m	本路線は、真加部と宗稜を繋ぐ生活道路で、児童が通う通学路にもなっており、車両同士がやっ とすれ違いが出来る程度の幅員の道路である。 近年、通行車両が増加し、大型車両の通行を考 慮する必要がある。また、歩道がないことから、 児童等歩行者の交通の安全性確保が憂慮され ている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道古川小座線	ア 総延長	m	見込	3,423	3,423	3,423	3,423	
			実績	3,423	3,423	3,423		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 歩道を新設し安心して通行できるようにする	ア 歩道の整備	m	目標		90	510	260	
			実績		90	510		
			達成率		100.0%	100.0%		
イ	イ 事故発生の件数	件	目標	0	0	0	0	
			実績	0	0	0		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 工事を発注する	ア 発注件数	件	目標		1	1	1	
			実績		1	1		
			達成率		100.0%	100.0%		
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 03		大事業 06	中事業 27	予算上の事業名				事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費				町道古川小座線歩道新設事業費				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債	23,000	28,000	30,000	15,000		2,000	町債	20,600	28,000	12,100	15,000		-15,900		
その他特財							その他特財								
一般財源	1,500	3,979	6,500	5,200		2,521	一般財源	509	509	1,478	5,200		969		
合計	24,500	31,979	36,500	20,200		4,521	合計(A)	21,109	28,509	13,578	20,200		-14,931		
財源名称	過疎対策事業債						従事正職員人数	2	2	2					
							延べ業務事務時間	30	100	100					
							人件費計(千円)(B)	100	335	342			7		
	最終予算額		36,500 千円		予算執行率	37.2%		トータルコスト(A+B)	21,209	28,844	13,920	20,200		-14,924	

1枚目

事業番号	04837	事務事業名	町道古川小座線歩道新設事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	----------------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
歩道設置により、今後利用者のスムーズな通行、安全が確保される。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
当該現場に適した工法、経済性等の検討を行い実施する。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
現在に至るまで、多大な危険及び不便を抱えていた利用者が、歩道設置事業により改善できる事を大いに期待していると意見が多数寄せられている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 利用者の安全な通行が確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町道であり、公共性があるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 歩道を新設することで、歩行者の安全な通行が確保される。
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 特に無し。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 町道の利用者が安全な通行ができない状態となる。
	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 改善の余地はない。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 削減の余地はない。
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町道を利用する町民が公平に安全な通行が可能である。	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業での道路改良により、通行環境は以前より大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができた。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																							

事業番号	事務事業名		町道単独舗装事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
04915	政策名	4	快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	西村 淳子
	施策名	48	道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	地区要望及び道路管理者として舗装整備を要する危険箇所、緊急性の高い箇所より順次工事発注し道路の整備を図り諸車通行の安全を図る。	高度成長時代の車社会到来に伴う時期から、自動車の通行可能な道路及び大型車の通行可能な幹線道路が必要とされ、補助対象とならない箇所の整備を単独町費で整備している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道路面	ア 町道総延長	km	見込	460	460	460	460	460
			実績	460	460	460		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 安全に通行できるようにする	ア 道路舗装率	件	目標	87	87	87	87	87
			実績	87	87	87		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 道路のパトロール	ア パトロール回数	回	目標	50	50	50	55	60
			実績	50	50	50		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		83.3%
イ 舗装補修工事の発注	イ 補修箇所数	箇所	目標	15	15	15	15	15
			実績	18	8	16		
			達成率	120.0%	53.3%	106.7%		106.7%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 03		大 12		中 01		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費						町道単独舗装事業費		04915
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債		5,500	6,000			500	町債		5,000	6,000			1,000		
その他特財							その他特財								
一般財源	29,500	7,500	9,500	20,600	13,000	2,000	一般財源	29,379	2,407	8,896	13,000	13,000	6,489		
合計	29,500	13,000	15,500	20,600	13,000	2,500	合計(A)	29,379	7,407	14,896	13,000	13,000	7,489		
財源名称	過疎対策事業債						従事正職員人数		4	4	4	4	4		
							延べ業務事務時間		100	100	100	100	100		
							人件費計(千円)(B)		334	335	342	336	336	7	
	最終予算額		15,500 千円	予算執行率		96.1%	トータルコスト(A+B)		29,713	7,742	15,238	13,336	13,336	7,496	

1枚目

事業番号	04915	事務事業名	町道単独舗装事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	-----------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
舗装整備から年数が経過し、経年劣化により路面の状態が悪くなり、車両等の通行に支障を来しつつある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
路面の状況を把握し、優先順位を決め修繕の実施を行う。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
地区及び利害関係者から道路舗装についての要望が多く寄せられており、この事業により路面の状況が改善され、安全な交通の確保ができていたとの意見が多数寄せられている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 利用者の安全な通行が確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町道であり、公共性があるため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 舗装修繕することで安全な通行が確保されるため適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 特になし。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 町道の利用者が安全な通行ができない状態となる。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 改善の余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町道を利用する町民が公平に安全な通行が可能となっているため、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業での町道の舗装修繕により、通行環境は以前より大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができた。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																							
特になし	(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																						

事業番号	事務事業名	補助橋梁整備事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
05061	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	橋梁点検 81橋の点検を実施 橋梁補修 前田橋・大釣橋の補修工事を実施 橋梁補修設計 杉の前橋・石橋の詳細設計を実施	平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、計画に沿って点検及び補修を実施している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道橋	ア 橋梁数	橋	見込	441	441	441	441	441
			実績	441	441	441		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 健全な状態を維持する	ア 点検業務を発注	件	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 工事の発注・管理	ア 修繕工事を発注・施工管理	件	目標	2	2	3	2	2
			実績	2	2	3		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		150.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 04		大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		橋梁維持費				補助橋梁整備事業費					
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比				
国庫支出金	54,554	62,731	19,904	18,111	18,111	-42,827	国庫支出金	54,554	62,731	18,111	18,111	18,111	-44,620			
県支出金							県支出金									
町債	41,100	38,700	5,000	30,000	30,000	-33,700	町債	40,500	38,700	5,000	30,000	30,000	-33,700			
その他特財							その他特財									
一般財源	24,793	30,619	28,046	3,016	3,016	-2,573	一般財源	18,087	26,644	27,302	3,016	3,016	658			
合計	120,447	132,050	52,950	51,127	51,127	-79,100	合計(A)	113,141	128,075	50,413	51,127	51,127	-77,662			
財源名称	道路メンテナンス補助金				従事正職員人数		2	2	2	2	2					
	過疎対策事業債				延べ業務事務時間		50	50	50	50	50					
					人件費計(千円)(B)		167	168	171	168	168	4				
	最終予算額		52,950 千円		予算執行率		95.2%		トータルコスト(A+B)		113,308	128,243	50,584	51,295	51,295	-77,658

事業番号	05061	事務事業名	補助橋梁整備事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	-----------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
橋梁の老朽化に伴い車両等の通行において危険度が増しており、通行に支障が出る恐れがある。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
現場に適した工法、経済性の検討を行い、実施した、
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
町道橋の長寿命化が図られることで、安全な車両等の通行が期待されている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 利用者の安全な通行は確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町道橋であり、公共性があるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 橋梁修繕することで、安全な通行が確保される。
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 特になし。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 町道橋の利用者が安全な通行ができない状態となる。
	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 改善の余地はない。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 削減の余地はない。
公平性 評価	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 削減の余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町道橋を利用する町民が公平に安全な通行が可能である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業での町道の橋梁修繕により、通行環境は以前より大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができた。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p>今後の改革改善案</p> <p>橋梁長寿命化計画を策定し、計画に沿って定期的に点検及び補修を実施しており、改善計画はない。</p>																						
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
なし。																							

事業番号	事務事業名	単独橋梁整備事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
05062-0	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	大林 健人
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	令和3年度から令和4年度の繰越分 橋梁点検を行った結果、補修する必要があると判断された橋梁について町単 独事業により補修を実施する。	平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、修 繕事業を実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道橋	ア 橋梁数	橋	見込 実績	441 441	441 441	441 441	441	441
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道橋の適切な維持管理	ア 橋梁修繕工事発注	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 直営点検	ア 点検橋梁数	橋	目標 実績 達成率	8 8 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	8	2 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 04		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		橋梁維持費		03 03		単独橋梁整備事業費					
予算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町 債			7,300			7,300	町 債			7,300			7,300			
その他特財							その他特財									
一般財源			7,722			7,722	一般財源			6,076			6,076			
合計			15,022			15,022	合計(A)			13,376			13,376			
財源名称	従事正職員人数															
	延べ業務事務時間															
	人件費計(千円)(B)												0			
	最終予算額	15,022 千円		予算執行率	89.0%		トータルコスト(A+B)			13,376			13,376			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	橋梁修繕により、通行環境は改善されており改正の余地はなし
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	単独橋梁整備事業費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
05062	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	木多 和之
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	橋梁点検を行った結果、補修する必要があると判断された橋梁について町単独事業により補修を実施する。令和3年度に事業完了しなかったものについては令和4年度で実施。	平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、修繕事業を実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町道橋	ア 橋梁数	橋	見込	441	41	441	441	441
			実績	441	441	441		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 健全な状態を維持する	ア 直営点検を行う	件	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 工事の発注・管理	ア 修繕工事を発注・施工管理	橋	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町道	ア 快適で安全な通行ができる
イ 町内の国・県道	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 02		目 04		中事業 03		中事業 03				事業番号 05062
	一般会計		土木費		道路橋梁費		橋梁維持費		03		単独橋梁整備事業費				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債		12,300	7,900			-4,400	町債		4,900	7,900			3,000		
その他特財							その他特財								
一般財源	1,380	11,319	22,511	1,380	1,380	11,192	一般財源	1,364	3,697	1,017	1,380	1,380	-2,680		
合計	1,380	23,619	30,411	1,380	1,380	6,792	合計(A)	1,364	8,597	8,917	1,380	1,380	320		
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債						従事正職員人数		1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間		10	10	10	10	10		
							人件費計(千円)(B)		33	34	34	34	34		
	最終予算額		30,411 千円		予算執行率		29.3%		トータルコスト(A+B)		1,397	8,631	8,951	1,414	

事業番号	05062	事務事業名	単独橋梁整備事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	-----------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
橋梁の老朽化に伴い車両等の通行において危険度が増しており、通行に支障が出る恐れがある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
財源裏を模索し、単独町費の持ち出しを削減している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
町道橋の長寿命化が図られることで、車両等の安全な通行が期待されている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 利用者の安全な通行が確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町道橋であり、公共性があるため妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 橋梁修繕することで安全な通行が確保される。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 特になし。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 町道橋を利用者が安全な通行ができない状態となる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町道橋を利用する町民が公平に安全な通行が可能である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業での町道の橋梁修繕により、通行環境は以前より大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができた。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

事業番号	事務事業名	河川維持補修費	所管課名	建設課	令和 4 年度課長名	岩佐 誠己
05180	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係	担当者・シート作成者	瀬島 豊
	施策名	41 防災対策の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	緊急性の高い箇所は、随意契約発注を行い、早期対応による安全確保に努めている。基本的に災害復旧事業と重複させ復旧整備の推進を図る。	準用河川及び普通河川は、鏡野町の行政財産であり、適切に管理する義務がある。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 準用河川、普通河川	ア 河川延長	km	見込 実績	140 140	140 140	140 140	140	140
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 河川の適切な維持管理	ア 苦情、トラブル、要望数	件	目標 実績 達成率	60 60 100.0%	60 60 100.0%	50 50 100.0%	40 142.9%	35 100.0%
イ 地区要望への対応	イ 対応率	%	目標 実績 達成率	80 80 100.0%	80 80 100.0%	70 80 114.3%	70	80 100.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 河川のパトロール	ア パトロール回数	回	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12 12 100.0%	12	12 100.0%
イ 修繕工事の発注	イ 補修箇所数	箇所	目標 実績 達成率	1 2 200.0%	3 3 100.0%	2 5 250.0%	2	2 250.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の住民・世帯	ア 迅速的確に救助・救護される
イ 自主防災組織	イ 災害から身体、生命及び財産を守る
ウ	ウ 自主防災意識を高める
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 08		項 03		目 03		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		土木費		河川費		河川維持費		河川維持補修費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債			3,600		3,600	町債			3,600			3,600			
その他特財						その他特財									
一般財源	28,300	13,000	31,700	20,000	18,700	一般財源	20,208	10,291	14,708	20,000	20,000	4,417			
合計	28,300	13,000	35,300	20,000	22,300	合計(A)	20,208	10,291	18,308	20,000	20,000	8,017			
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2				
	延べ業務事務時間						200	150	250	250	250	100			
	人件費計(千円)(B)						669	503	855	841	841	353			
	最終予算額		35,300 千円	予算執行率		51.8%	トータルコスト(A+B)		20,877	10,794	19,163	20,841	20,841	8,370	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	河川修繕等行うことにより、流下能力の向上させ、沿川住民の浸水被害等の軽減を図る。今後も継続して実施する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	